

立ち読み版

Turn
Weaknesses
into Strengths

弱みを強みに
転じた起業家たち

高橋 絵理

株式会社カタルチア 代表取締役

えり

さん

1989年、愛媛県生まれ。立命館大学産業社会学部卒業後、フリーランスとして活動。その後、非正規雇用の女性アナウンサーたちのセカンドキャリア創出を企図し、2015年にアナウンサーによる映像制作会社カタルチアを設立。民間企業や官公庁の映像コンテンツの制作を行う。

【写真】田中 和弘

応援が共感を呼び、 共感が仕事を呼ぶ

——非正規雇用の女子アナたちの強みを最大限に生かす、カタルチアの試み

【取材・文】荒井 ゆき なないろマネジメントオフィス代表／株式会社メディリーフ代表取締役／株式会社ライブリット・アンド・カンパニー取締役副社長／中小企業診断士

Turn Weaknesses into Strengths—Eri Takahashi

今般のコロナ禍で「ピンチをチャンスに」というフレーズが各所で聞かれた。コロナ禍のような特殊な危機においては生き残りをかけて発想の転換が求められるという話であったが、平時においても弱みを弱みのまま終わらせるのではなく、むしろ強みに転じるという創意工夫ができれば、それは紛れもなく強いビジネスとなるであろう。

本連載では、まさに弱みを強みに転じた起業家たちにスポットを当て、その考え方からあらゆるビジネスへつながるヒントを探っていく。第1弾として、不安定なキャリアを辿ることが多い女子アナたちのボテンシャルを最大限に発揮する場をつくり、企業のPRを支援する株式会社カタルチアを創業した高橋さんへインタビューを行った。



スキルの解釈を広げ、 活躍の場をつくる

荒井：創業から7年が経過しますね。現在の事業についてお聞かせください。

高橋：会社紹介や、商品紹介、動画マニュアル、研修動画など、さまざまなジャンルの映像コンテンツを制作して、お客様に提供しています。当社のスタッフはほぼ全員がプロの女性アナウンサー

ンサー（以下、女子アナ）で、ナレーション出演やロケ出演を行うことももちろんあるのですが、企画や撮影、編集などの制作業務も全て彼女たちに担当してもらっているのが特徴です。

通常、映像制作をしたいというお客様がいらした場合、まずは広告代理店に依頼が行きます。そして広告代理店が映像制作会社に依頼する。映像制作会社はキャスティング会社に出演者探しを依頼し、キャスティング会社がアナウンサー事務所に依頼する、といった多重構造になっているのです。その多重構造の最下流にいる女子アナたちは、アナウンサー事務所に所属していて、声がかかったらオーディションに行って最後の一人に選ばれて初めて仕事を獲得し、アナウンサーとしての出演料を事務所からいただきます。ですから、仕事が来るのを待つかない、待っていてやっと声がかかっても選ばれるかどうかわからないという、とても不安定な職業で、私自身もフリーランス時代には生計を立てるためにとても苦労しました。

そんな女子アナのビジネスモデルを変えたくて、カタルチアを起業しました。仕事が降ってくるのを待っているのではなくて、自分たちで仕事をつくる。業界が多重構造になっているのであれば、川上に位置すればよいのだと考えて映像制作のポジションに入りました。そうすれば、キャスティングもできるし、自分たちも出演できる、と考えたのです。

荒井：女子アナというと華やかな世界を想像しが